

# ・・・ひと 家族 地域が輝くとやまに・・・

## 松井くにひと通信

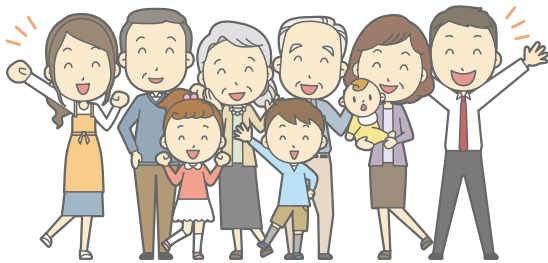
### ごあいさつ

皆さま方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

おかげさまで、議員2期目も元気に働かせていただいております。

常任委員会においては、企画管理部・財務部・教育委員会などを所管する総務文教委員会に所属することになりました。また、会派では政務調査会事務局長として施策全般に携わっています。

これから人口減少社会においては、耳ざわりのいいことが言えない時代となっていきます。皆さんの負託に応えるためにも将来あるべき姿を見据え、次世代に安心して安全な富山市を引き継ぐためにも責任世代として、覚悟をもって市政運営に臨んでいきますので、今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



富山市民の代表として、安心・安全、また将来の生活のために他の地域の取り組みや事例を情報収集して、富山市政に活かしていくことが議員の役割だと考えています！

### 自転車保険について

私は自転車と歩行者との事故により自転車運転者が加害者となる事案が全国的に散見したのを危惧し、子どもたちへの自転車損害賠償責任保険加入を促すために条例制定に向け取組んでいました。

条例制定とはいきませんでしたでしたが、令和3年4月から実施されている「富山市自転車利用環境整備計画」に自転車保険加入に向けた数値目標を掲げてもらいました。

さらに、6月定例会において自転車保険加入促進を図るために補助金(小・中学生や高校生、65歳以上の免許返納者が対象)を3年間実施してもらえることになりました。

皆さんにとって必要だと考えて取組んだことが実を結び、議員としてうれしかったです。

### 意見書まとめました

コロナ禍において木材の需要や流通に影響が生じ、ウッドショックと呼ばれる世界的な木材不足が起きています。

日本の木材自給率は3割強で、輸入に依存しているため、国内における木材価格は高騰しています。

そこで、木材価格の安定と事業者支援と、国産材の供給力を計画的かつ着実に高め、中長期的な国産材の供給体制の強化を図ることを、国にむけて意見書をまとめました。

### ちょっと聖火ランナー気分♪

東京2020オリンピック聖火リレーランナーに地域の方が選ばれたので、地域のみなさんとトーチに触れさせていただきました。なかなかトーチを間近で見る機会がないので感激し、カメラ小僧のように撮影させていただきました。



ロゴの部分はこうなってるのか！

LINE

LINE 公式アカウントはじめました。

①下記の URL より追加  
<https://lin.ee/zeXGPWh>

②LINE アプリを開いて「友だち」→「ID 検索」→「@491hjmah」を検索して追加

③下記の QR コードを読み取って追加

友だち追加をお願いします！



YouTube

松井くにひとチャンネル開設しました

高評価👍

チャンネル登録

よろしくお祈りします！





市議会の一般質問をどのように作成しているのか、平成30年9月定例会で質問した「富山市民病院」を例にご説明していきます。

## 1 きっかけ

私自身の1型糖尿病\*を機に公立病院の必要性を感じていました。市民病院の医師確保や老朽化を考える中で、改めて公立病院の役割について考えたのがきっかけです。

※1型糖尿病とは、自己免疫によっておこり、体内でインスリンを作ることができなくなって生涯にわたって毎日数回のインスリン自己注射を続けなければならない病気です。

一般的に糖尿病として認知されていますが、生活習慣病（糖尿病患者の9割以上を占める2型糖尿病）でも先天性の病気でもありません。

また、血糖コントロールができれば、健康な人と同じような食事や運動などをすることができます。

## 2 中核市(48市)へアンケート

※中核市とは人口20万人以上の市  
※現在の中核市は60市です

全国の中核市へ公立病院の病床数や病床稼働率、経営状況、医師確保、周辺病院との連携、新病院建設などについてアンケートを作成し、回答をお願いしました。

## 3 中核市より回答をもらう

回答いただいた内容を一覧表にまとめ、富山市に参考になる病院を選んだ上で、市民病院の先生から医療従事者の立場からの意見をいただき、約10箇所の視察場所を選びました。

## 4 視察へ行く

コロナ禍で現在視察に行くことはできませんが、現地の病院を視察することによって、HPや資料だけでは分からないことを学ぶことができました。

## 5 視察後

視察した内容や所感をまとめ、市民病院の取り組みに活かすことができないかと考え、先生に伝えました。



鹿児島市立病院

## 6 一般質問の原稿作成

市民病院の現状と課題や視察した公立病院での取り組み、各種データなどを基に、市民病院のあり方について質問を作成しました。  
※一般質問には、一括質問と一問一答の2つがありますが、私はいつも一括質問形式を選択し、毎回約4,200文字の質問原稿を作成します。



加賀市医療センター

## 7 担当部局との打合せ

定例会での一般質問に向け、担当部局と質問に対する考えや内容について打合せをします。

## 8 原稿の最終チェック

定例会が始まる頃には、質問原稿を仕上げ、一般質問に臨んでいます。

## 9 本会議一般質問



松戸市立総合医療センター

## ◆平成 29 年 6 月定例会

- 1 保育所について
- 2 富山市通学路交通安全プログラムについて
- 3 富山市ファミリー・サポート・センターについて
- 4 自転車保険の加入促進について

## ◆平成 29 年 9 月定例会

- 1 富山市民の健康寿命の延伸と医療費の適正化について
- 2 小中学校及び公共施設の体育館について

## ◆平成 29 年 12 月定例会

- 1 横断歩道橋のあり方について
- 2 小・中学校に対する避難訓練のあり方について



## ◆平成 30 年 3 月定例会

- 1 少子・超高齢社会における支援体制について
- 2 妊婦歯科健診・歯周疾患検診について



## ◆平成 30 年 6 月定例会

- 1 市職員の人材育成について
- 2 富山駅構内の情報表示について

## ◆平成 30 年 9 月定例会

- 1 自転車の活用と安全利用について
- 2 富山市民病院について



## ◆平成 30 年 12 月定例会

- 1 社会資本整備に対するコスト縮減手法について
- 2 SDGs 未来都市としての循環型トイレについて
- 3 小・中学校におけるプログラミング教育について



## ◆平成 31 年 3 月定例会

- 1 本市の歳入歳出について
- 2 本市の基金について
- 3 企業版ふるさと納税について

## ◆令和元年 6 月定例会

- 1 自転車の安全施策の充実について
- 2 社会インフラのマネジメントについて

## ◆令和元年 9 月定例会

- 1 コンパクトなまちづくりの効果について
- 2 孫とおでかけ支援事業について
- 3 富山市の中心市街地活性化について



## ◆令和元年 12 月定例会

- 1 特別支援教育について
- 2 小学校における教科担任制について

## ◆令和 2 年 3 月定例会

- 1 特定健診・特定保健指導について
- 2 歯科検診について
- 3 がん検診について
- 4 保険者としての取組みについて



## ◆令和 2 年 9 月定例会

- 1 財政について
- 2 厳しい財政状況下に求められる職員像について
- 3 県・市町村連携について
- 4 教員の勤務時間について
- 5 学校教育について



## ◆令和 2 年 12 月定例会

- 1 社会インフラ維持管理に向けた民間等との連携について
- 2 富山市センサーネットワークの活用について
- 3 とやまシティラボ推進事業について

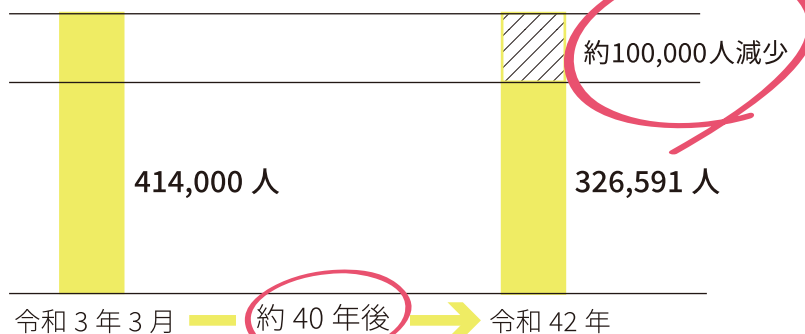


## ◆令和 3 年 3 月定例会

- 1 あいの風とやま鉄道の富山駅・東富山駅間の新駅について
- 2 新富山口駅周辺の雨水・浸水対策について
- 3 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりについて

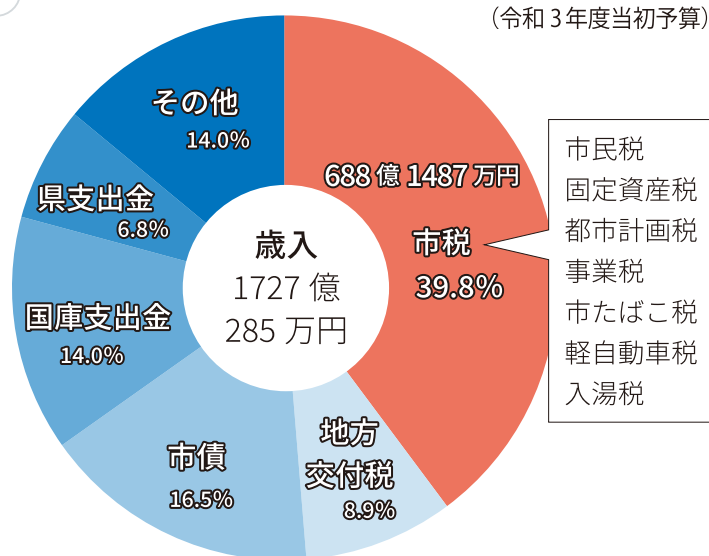


## 01 富山市の人口は 40 年後 10 万人減少



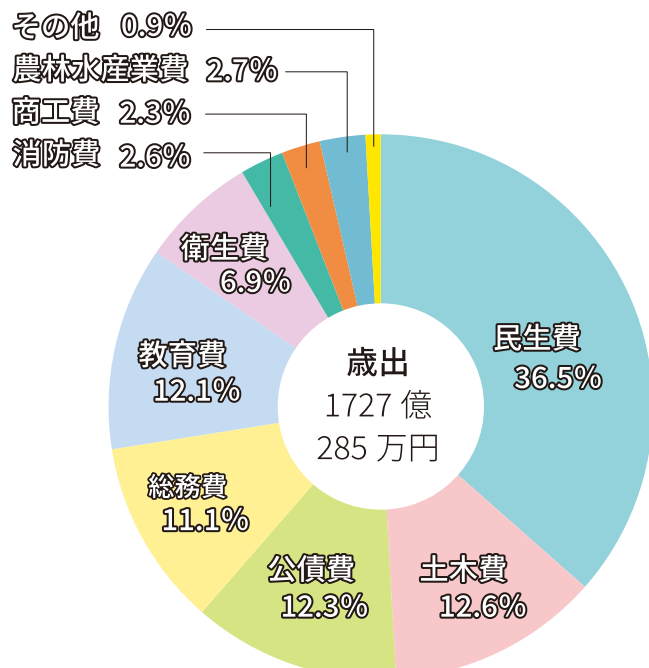
歳入の市税だけでは、必要な歳出の 4 割程度しかまかなうことが出来ません。不足分は国からの補助金と市債などで成り立っています。そこで

- ① 転入人口の増加 (住みたくなるまちづくり)
  - ② 社会保障費の抑制 (健康寿命の延伸)
  - ③ 社会インフラの取捨選択と  
公共施設の集約化など
- を並行して取組んでいく必要があります。

02 富山市の予算を市民 1 人あたりに換算してみると  
(令和 3 年度当初予算)

市民 1 人あたりに換算した市税 **166,282 円**

(令和 3 年 1 月 31 日現在人口 413,845 人で算出)



市民 1 人あたりに換算した使われるお金 **417,313 円**

(令和 3 年 1 月 31 日現在人口 413,845 人で算出)

## 03 富山市にはこんな課題が！

## ● 税収の減少

人口減少が富山市に与える影響として考えなければならないことは「歳入」すなわち「税収の減少」です。

人口が減少すれば富山市が自由に使えるお金(市税収入)で大きく占める個人市民税が減少します。

これまでは市税収入の減少分を地方交付税や市債など、他の財源で補てんしており、私たちは税収減を今までは実感していません。

## ● 社会保障費の増大

今後の市政運営における大きな課題の一つに、歳出に占める民生費(生活保護、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉など)に関する費用、すなわち社会保障費の増大があります。

民生費の歳出に占める割合は、平成 17 年度が 20%で、令和元年度は 35.5%で、115 億円増加しております。

社会保障費の割合が増大することで、その他の事業に大きく影響してくるのです。

## ● 社会インフラの整備

今後は、税収の伸びが期待できない一方で、道路や橋りょうなどの社会インフラの老朽化対策や、公共施設の維持管理のための経費の増大が予想され、財政状況が厳しくなることが見込まれます。

また、人口の減少により公共施設の集約化を図る必要があるなど、これまでのまちづくりの手法の転換を行う必要があります。